

(特非) エコプランふくい

個人の移動にかかる CO₂ 排出量の「見える化」による地域交通の低炭素化にむけた基盤構築事業

助成活動がメディアに掲載された回数	4回
開発アプリ実用性検証モニター参加者数	103人
活動の全体目標に対する達成度	60%



アプリを起動するだけで移動が記録されます

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 実証実験のアンケートについて、約60%の人が、CO₂排出量の少ない移動手段への利用を考えるきっかけになったと回答した。回答者の約80%が、個人の移動ログが街づくりに活用される本取組みに協力したいと回答した。
- 工夫** 交通政策やまちづくりに携わる有識者から、データ利活用等に関して意見聴取を行った。

課題

過度に車に依存することにより、CO₂排出増に加えて、足腰が弱ることによる健康寿命の短縮化、高齢者の運転による交通事故の増加などの課題が生じている。

活動内容

スマートフォンに搭載されている加速度センサー及びGPS機能を活用し、個人の移動手段を識別し、個人の移動に係るCO₂排出量を「見える化」するため、移動情報を自動的に集計算し、所有者に通知するスマートフォン用アプリケーションの開発、実証実験用のサーバーも構築した。開発したアプリの実用性を検証するため、福井県鯖江市で参加モニターを募集し、集まった103人のモニターを対象に、実証実験を実施した。



CO₂の排出量が目に見えます

今後の課題

- ・アプリ機能である、移動手段把握の正答率を向上させる。
- ・アプリ利用者1,500人程度。